

I. 研究総会

2013 年度 第 1 回 研究総会

- 開催日時：2013 年 4 月 20 日（土）14:15～15:50
- 場所：龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 参加者：22 人

【研究総会の概要】

本プロジェクト 2013 年度第 1 回の研究総会は、桂紹隆センター長（龍谷大学文学部教授）ならびに長谷川岳史事務局長（龍谷大学経営学部教授）の開会挨拶により始まった。

桂センター長からは、昨年度センターが提出した中間報告に対する審査結果において、特に「多様性」と「現代的可能性」という言葉に意見がなされたことが報告され、多様な仏教を理解するためには、どのような「タガ」をはめられるかも考える必要があることが指摘された。また、「現代的可能性」に関して、全体研究会についてはテーマをそれにあわせて収斂してきたが、各ユニット研究会も「日本仏教の可能性」というテーマを念頭において開催するように指示がなされた。さらに、今後は、外部から講師を招くことから、BARC 研究員の成果の発信へと方向転換するよう要望がだされた。続いて、長谷川事務局長から



今年度予算に関する説明がなされた。

次に、各ユニットにわかれ本年度活動計画について検討した。検討終了後、各ユニットリーダーからその結果の報告があり、プロジェクト研究計画との関連も含め、研究員全員で確認した後、木田知生副センター長（龍谷大学文学部教授）の閉会挨拶で締めくくられた。



2013 年度 第 2 回 研究総会

- 開催日時：2014 年 2 月 25 日（火）13:30～15:40
- 場所：龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室
- 参加者：22 人

【研究総会の概要】

本プロジェクト第 2 回の研究総会は、長谷川岳史事務局長（龍谷大学経営学部教授）の開会挨拶にはじまり、桂紹隆センター長（龍谷大学文学部教授）から本年度プロジェクトの活動報告がなされた。続いて、各ユニットリーダーから、それぞれのユニットの今年度の研究の進捗状況及び研究計画の達成状況と問題点、その問題点の克服方法および本プロジェクトの最終年度となる来年度の活動・研究方針について報告があり、それらの報告に対してそれぞれ質疑応答が行われた。次に、桂センター長より総評がなされ、最後に、木田知生副センター長（龍谷大学文学部教授）の開会挨拶で締めくくられた。各報告の詳細については、2013 年度研究報告書を参照いただきたい。

